社協だより
ともに生きる
2021
1月号
No.103

02 年頭のごあいさつ　03 令和2年度幸田町社会福祉協議会会員入会報告　04 地域包括支援センターだより
05 トピックス　06 坂崎学区福祉あんしん見守り隊が発足しました、ご寄付紹介

介護予防について学び
地域でボランティアとして
活動しませんか

介護予防ボランティア研修会
を開催します

高齢者のための介護予防入門

THEME
介護予防が必要になった背景から国の方針、要介護の原因について理解を深め、介護予防の基本について、エクササイズやストレッチングと共に学びます。

STRETCHING

EXERCISE

と　き　令和３年２月26日(金)　午前10時～正午
ところ　中央公民館　ホール
対　象　町内在住または在勤で、
介護予防のボランティア活動をしている人、またはボランティア活動に関心のある人
定　員　30人　＊先着順
講　師　日本福祉大学社会福祉総合研修センターの講師
参加費　無料
申込み　１月12日(火)から幸田町地域包括支援センター(電話62-7331)へ
お申し込みください。

ぜひ
ご参加ください

年頭のごあいさつ

幸田町社会福祉協議会
会長　**神尾　義貴**

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。また、昨年中は、新型コロナウイルス感染症の影響で私ども幸田町社会福祉協議会が取り組んでおります多くの福祉事業の中止・延期を余儀なくされました。楽しみにしておられた関係者の皆さまには、大変なご心配とご迷惑をおかけしました。

しかし、10月に入り、5カ月遅れとはなりましたが各学区で「げんきかい」が開始されました。ようやく長いトンネルから抜け出た感を持ち、ほっとしました。開講式に出席し、皆さまと顔を合わせた時、人と会い話ができることの嬉しさとともに、社会福祉事業を実施することの大切さをあらためて感じました。

私どもの社会福祉事業は多くの方々から寄せられるお金が原資となって運営されます。具体的に挙げますと、幸田町社会福祉協議会会員（町民の皆さまを中心とする一般会員、個人・団体などの賛助会員、法人・事業所などの特別会員）からの会費、赤い羽根募金・歳末たすけあい募金などの共同募金、また、篤志家からの寄付金を合わせたものが主なものです。

令和2年度における会費の報告については、本誌3ページに掲載しております。また、共同募金については「ともに生きる」4月号に掲載していく予定ですのでご一読くだされば幸いです。こうした皆さまからの金銭的協力があるからこそ、幸田町社会福祉協議会の福祉事業が実施できると感謝しております。今後とも皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いします。

まだ新型コロナウイルス感染症との戦いは続くと思われますが、マスク、消毒、3密などに気をつけ、ウイルスを封じ込めて社会福祉事業が例年通り実施できることを願っております。

結びに、本年も皆さまにおかれましては幸多い年でありますようにに心からご祈念申し上げまして新年のごあいさつとさせていただきます。

幸田町長　**成瀬　敦**

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年中は、町福祉政策各般にわたりまして、社会福祉協議会へ多大なるご支援とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は年を越え、その予防対策を始めとする新しい行動や、事業内容を改めることが求められる年になりました。社会福祉協議会との共催事業を始め、ともにこれまでの事業を継承しつつ、実施方法などを見直していきたいと思います。

本町の高齢化率は、全国や愛知県と比較すると低いものの21％を超え、少しずつ上がってきています。また同時に、核家族化や高齢者のみの世帯の孤立化、認知症高齢者の増加などに伴う、介護する家族などの負担や課題も少しずつ増えてきています。新型コロナウイルス感染症対策とともに、医療と介護の一体的な取組がより一層求められています。

超高齢化社会になる2040年を見据え、可能な限り住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるような地域福祉施策を展開していく上で、社会福祉協議会の役割は、更に重要なものになっています。本町は、社会福祉協議会と協力して、成年後見制度の利用促進、認知症高齢者施策、介護予防施策に取り組んでいます。引き続き、地域で助け合う仕組みづくりに努めてまいりたいと考えております。

結びに、本年が皆さま方にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げまして新年のごあいさつとさせていただきます。

令和2年度

幸田町社会福祉協議会会員入会報告

ご加入ありがとうございました

今年度も幸田町社会福祉協議会会員への入会をお願いしましたところ、多くの皆さんからご協力いただきました。ご入会された皆さん、また、会費の取りまとめにご協力くださいました区長さんに心からお礼申し上げます。

皆さんからいただきました会費は、主に福祉への理解を深めていただくための啓発活動や福祉団体やボランティアの活動支援などの地域福祉活動の推進などに使わせていただいております。

令和２年度の加入状況

（令和２年12月８日現在）

会員の種類	会員数	一口	金額
一般会員 町民の皆さん	9,143世帯	300円	2,742,900円
賛助会員 個人・団体など	89名	1,000円	221,000円
特別会員 法人・事業所など	100事業所	3,000円	416,000円
合　　計			3,379,900円

◘賛助会員

幸田町議会議員　15名
幸田町管理職会　8名
幸田町社協役員・評議員　165名
（個人のお名前については、省略させていただきます）

◘特別会員ご芳名

（順不同・敬称略）

◆鈴木眼科医院
◆牧原整形外科クリニック
◆こうた内科クリニック
◆三河クリニック
◆佐野胃腸科外科
◆野々村クリニック
◆(医)やまざきクリニック
◆とみた小児科
◆むらかみ整形外科
◆こうた皮フ科クリニック
◆西山みみ・はな・のどクリニック
◆幸田中央クリニック
◆京ケ峰岡田病院
◆ハピネス歯科こども歯科クリニック
◆あいみ歯科
◆やまもと歯科醫院
◆植田歯科医院
◆さかきばら歯科
◆不破歯科医院
◆いちかわ歯科
◆ダスキンヘルスレント岡崎幸田ステーション
◆デイサービス和ごころ菱池
◆(有)たいよう
◆デイサービスいな穂
◆ライフデイサービス幸田店
◆ケアプランひなた幸田
◆特別養護老人ホームまどかの郷
◆まどかの郷デイサービスセンター
◆デイサービス水仙
◆訪問介護ステーションよいかん幸田
◆特別養護老人ホームつつじヶ丘
◆鈴木接骨院のデイサービス幸田
◆デイルーム幸田
◆レッツ倶楽部幸田
◆特別養護老人ホームメリーホーム幸田
◆幸田町シルバー人材センター
◆ケアホーム穂の香
◆葵デイサービス
◆あいち三河農協幸田支店
◆豊川信用金庫幸田支店
◆西尾信用金庫幸田支店
◆碧海信用金庫幸田支店
◆岡崎信用金庫幸田支店
◆蒲郡信用金庫三ケ根支店
◆(株)富田モータース
◆(有)ホンダ自動車
◆愛知自動車(株)
◆(有)愛幸自動車
◆杉浦モータース
◆伊与田モータース
◆(有)小野自動車
◆(有)イケダオート
◆三ヶ根自動車工業
◆村越建設(株)
◆(株)タナカ
◆(有)本田屋商店
◆太田新聞店
◆(株)加藤工業
◆大嶽屋
◆日軽エムシーアルミ(株)
◆(株)石原組
◆(有)カンドリ工業
◆セントラルコンベヤー(株)
◆(株)コーテック
◆小原建設(株)幸田営業所
◆(株)伊藤建設
◆(株)ニシオ
◆豊坂建材(株)
◆(株)エンヤ
◆(株)三ヶ根観光社本社営業所
◆トヨコンロジスティクス(株)
◆(有)白光舎
◆矢作産業(株)
◆轟醸造(株)
◆金星工業(株)幸田工場
◆(株)ササノ合成
◆(有)レミックス
◆(株)本多工務店
◆丸七建設興業(株)
◆三河舗装建設(株)
◆葵カントリークラブ
◆幸田マシナリー(株)
◆ソニーグローバルマニファクチャリング&オペレーションズ(株)幸田サイト
◆(株)デンソー幸田製作所
◆三菱ケミカル・クリンスイ(株)幸田製造部
◆(株)幸田グリーンゴルフクラブ
◆花笠商事(株)
◆(株)大万
◆小池管工(有)
◆(株)山本組
◆三河観光(株)
◆(株)佐藤渡辺幸田合材工場
◆(株)N&K幸田セントラルボウル
◆幸田町商工会
◆(株)豊幸
◆幸南工業(株)
◆幸文堂ドリームウェイ(株)
◆アスカ(株)幸田工場
◆吉良建設(株)幸田支店
◆パナソニック住宅設備(株)幸田工場

地域包括支援センターだより

ご存知ですか？ オーラルフレイル

オーラルフレイルとは……

口の機能低下、食べる機能の障がい、さらには、心身の機能低下までつながる“負の連鎖”に警鐘を鳴らした概念です。自分の口の健康状態を知って、オーラルフレイル対策をしましょう。

ずっと笑顔で“健康長寿”を目指しましょう！

【オーラルフレイルチェック方法】

質問項目	はい	いいえ
半年前と比べて、かたいものが食べにくくなった	2	
お茶や汁物でむせることがある	2	
義歯を使用している	2	
口の渇きが気になる	1	
半年前と比べて、外出の頻度が少なくなった	1	
さきいか・たくあん位のかたさのものが噛める		1
１日に２回以上は歯を磨く		1
１年に１回以上は歯科医院を受診している		1

合計点数が…
- **０～２点**➡オーラルフレイルの危険性は低い
- **３点**➡オーラルフレイルの危険性あり
- **４点以上**➡オーラルフレイルの危険性が高い

出典：東京大学高齢社会総合研究機構　田中友規、飯島勝矢

４点以上で危険性が高いので、かかりつけ歯科医に相談してみましょう。

認知症サポーター養成講座を開催します

①認知症サポーター養成講座（基礎編）

認知症を正しく理解し、認知症の人の見守り活動などを行う認知症サポーターを養成します。

と　き　休日の部：２月14日(日)　午後１時30分～３時30分
平日の部：２月16日(火)　午後６時30分～８時30分

ところ　中央公民館ホール

対　象　町内在住・在勤で認知症に関心があり、認知症の人や家族に対し理解を深め、無理のない範囲で温かく見守ることのできる人

申込み　２月８日(月)までに地域包括支援センター（電話62-7331）へお申し込みください。

②認知症サポーターフォローアップ講座

認知症サポーターがより実践的な活動ができるように、認知症の人への声掛けや具体的な対応方法について学びます。

と　き　休日の部：２月28日(日)　午後１時30分～３時30分
平日の部：３月２日(火)　午後６時30分～８時30分

ところ　中央公民館ホール

対　象　町内在住・在勤で今年度または過去に認知症サポーター養成講座（基礎編）を受講した人（認知症サポーター）

申込み　２月８日(月)までに地域包括支援センター（電話62-7331）へお申し込みください。

高齢者や介護に関する悩みや疑問など、なんでもお気軽にお問い合わせください
幸田町地域包括支援センター　電話62-7331

令和２年度幸田町社会福祉大会が開催されました

令和２年11月20日(金)、幸田町民会館で令和２年度幸田町社会福祉大会が開催されました。
社会福祉関係者が一堂に集まり、社会福祉に貢献された人たちへの顕彰や、長寿などのお祝いをするとともに、福祉のまちづくりに向けての大会宣言を行いました。

顕　彰

（順不同･敬称略）

幸田町社会貢献活動感謝状

◇**社会貢献活動功労者**

足　立　四　郎
松　田　なほみ
大　島　　修
松　下　和　男
中　村　潤　翁

幸田町社会福祉協議会会長表彰状

◇**福祉団体功労者**

幸田町手をつなぐ育成会　　桐　戸　伊和夫

◇**社会福祉協力校**

幸田町立深溝小学校
幸田町立豊坂小学校

幸田町社会福祉協議会会長感謝状

◇**福祉団体功労者**

幸田町老人クラブ連合会　　赤　松　麗　子
幸田町老人クラブ連合会　　近　藤　茂　章
幸田町老人クラブ連合会　　山　本　　舜

◇**社会福祉事業多年勤続者**

民生委員児童委員　　岩　瀬　秋　雄
民生委員児童委員　　小　林　まさ子
民生委員児童委員　　平　岩　耕　一
民生委員児童委員　　本　田　一　恵
保護司　　神　尾　やち子

◇**社会福祉事業協力者**

平　井　　豊
株式会社　石原組従業員一同
株式会社　苔善
幸田町グラウンド・ゴルフ協会
ピアゴ幸田店
マックスバリュ幸田店
マロー観音（賽銭）
有限会社　スギウラクラフト

◇**社会福祉事業の進展に寄与した者**

傾聴ボランティア　ちょうちょ＜聴々＞
食育推進ボランティア　ひまわり

祝品贈呈

長寿祝	白寿（99歳）	10名
	米寿（88歳）	162名
結婚祝	ダイヤモンド婚（結婚60周年）	18組
	金婚（結婚50周年）	52組

点訳つどいの会が「新しい生活様式」の実践例の点訳版を作成しました

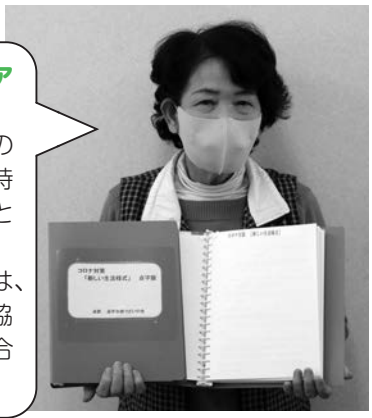
点訳つどいの会が、厚生労働省が作成した“「新しい生活様式」の実践例”の点訳版を作成し、幸田町社会福祉協議会にご寄付いただきました。

ご寄付いただいた資料は、幸田町役場福祉課窓口および幸田町社会福祉協議会窓口にて閲覧できます。また、数に限りがございますが、必要な人にお譲りすることもできますので、幸田町社会福祉協議会（電話62-7171）までお気軽にお問い合わせください。

点訳ボランティア募集中！

点訳は、自分のペースで空いた時間に活動することができます。

興味がある人は、幸田町社会福祉協議会までお問い合わせください。



点訳つどいの会代表の磯部ちひろさん

坂崎学区福祉あんしん見守り隊が発足しました

令和２年11月25日(水)、坂崎学区福祉あんしん見守り隊が坂崎学区の住民ら32人でスタートしました。

坂崎学区福祉あんしん見守り隊の活動は住民同士がつながりあうきっかけであり、ともに支え合って暮らしていくことができる地域づくりを推進していきます。

坂崎学区福祉あんしん見守り隊発足式に参加した皆さん

見守り活動の役割

発見、つなぐ

同じ地域で暮らす住民ならではの「気づき」を活かします。見守り活動を通して、発見したことを地域包括支援センターなど専門機関に連絡、相談する「つなぐ」役割となります。

見守り

日常生活で声掛けを通じて安否確認を行います。ご近所の高齢者世帯などを日常的、継続的に見守るということは、同じ地域で暮らす住民だからこそできる活動です。

予防

住民の変化に早期で気づくことにより、深刻な状態に陥る前に専門的な支援に「つなぐ」ことは重要なことです。また、声掛けを通しての「つながり」は閉じこもり予防にもつながります。

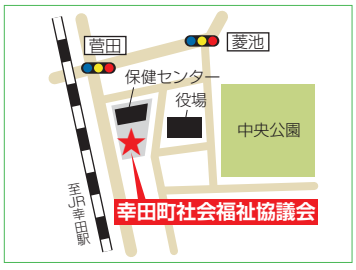
問合せ　幸田町社会福祉協議会　電話62-7171

ご寄付紹介　R２.９.７～R２.12.８　（順不同･敬称略）

●現金　**幸田町グラウンド・ゴルフ協会**　122,360円　**アトリエジャスト近藤二吉**　11,330円　**鈴木誠**　7,000円　**㈱石原組従業員一同**　3,600円　**匿名**　100,000円　**匿名**　50,000円

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113　愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4
電話（0564）62-7171　　FAX（0564）62-7254
居宅介護支援事業所　　電話（0564）64-1069
訪問介護事業所　　電話（0564）83-7273
地域包括支援センター　電話（0564）62-7331
メール　info@kotashakyo.jp

ホームページ
http://kotashakyo.jp/